



2014年1月8日

各 位

会 社 名 マックスバリュ中部株式会社
代表者名 代表取締役社長 鈴木芳知
(コード番号：8171 名証第二部)
問合せ先 取締役兼執行役員管理本部長 望月俊二
(TEL：052-857-0721)

(追加)「平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の一部追加について

平成26年1月8日15時00分に公表いたしました、当社「平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、サマリー情報のPDFファイルが添付されておりましたので、別添のとおり再掲いたします。

以上



平成26年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年1月8日

上場取引所 名

上場会社名 マックスバリュ中部株式会社

コード番号 8171 URL <http://www.mv-chubu.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 鈴木芳知

問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員管理本部長

(氏名) 望月俊二

TEL 052-857-0721

四半期報告書提出予定日 平成26年1月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年2月期第3四半期の連結業績(平成25年3月1日～平成25年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年2月期第3四半期	114,193	—	712	—	774	—	27	—
25年2月期第3四半期	93,554	3.6	876	△13.8	955	△11.4	188	422.7

(注) 包括利益 26年2月期第3四半期 △7百万円 (—%) 25年2月期第3四半期 176百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年2月期第3四半期	0.87	0.87
25年2月期第3四半期	7.42	7.39

当社は、平成25年2月期より決算日を1月31日から2月末日に変更いたしました。これに伴い、当第3四半期(平成25年3月1日から平成25年11月30日)と比較対象となる前第3四半期(平成24年2月1日から平成24年10月31日)の期間が異なるため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年2月期第3四半期	46,998	15,699	32.7
25年2月期	38,130	13,389	34.9

(参考) 自己資本 26年2月期第3四半期 15,374百万円 25年2月期 13,325百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年2月期	—	—	—	10.00	10.00
26年2月期	—	—	—	—	—
26年2月期(予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年 2月期の連結業績予想(平成25年 3月 1日～平成26年 2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	158,000	—	2,950	—	2,950	—	1,250	—	39.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

平成25年2月期は決算期変更により13ヶ月決算のため、通期の対前期増減率は記載しておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 永旺美思佰樂(江蘇)商業有限公司 、 除外 1社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年2月期3Q	31,734,623 株	25年2月期	25,510,623 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年2月期3Q	75,116 株	25年2月期	76,381 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年2月期3Q	31,659,411 株	25年2月期3Q	25,432,538 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間（2013年3月1日から2013年11月30日まで）におけるわが国経済は、輸出産業を中心に緩やかな回復基調が続くとともに、2014年4月の消費税率の引き上げを見据え耐久消費財の動きが活発になりました。しかしながら、スーパーマーケット業界におきましては、日々の食料品・日用品等への節約志向は継続し、加えて業種業態を越えたシェア争奪や価格競争が更に激化し、依然として厳しい経営環境が続きました。

このような環境の中、当社は2013年3月1日付のマックスバリュ中京株式会社との合併により100店舗体制となり、更なる営業力強化に取り組みました。

営業面では、3月より継続実施している合併記念「パワーアップセール」をはじめ、お客さま感謝デーや火・水曜市などの販促を強化するとともに、イオンのグループ力を活かしたトップバリュ商品の更なる販売強化、調理時間の短縮や簡便性の高まりに応えるため、冷凍食品、デイリー等の拡充や惣菜の量り売りコーナー「フードバー」の展開など、お客さまに支持される売場作りを推進しました。

成長戦略としては、上期に開店した3店舗に加え、9月にマックスバリュ グランド名西店（名古屋市中西区）、11月にマックスバリュ エクスプレス笠寺店（名古屋市中南区）、マックスバリュ 桑名新西方店（三重県桑名市）の3店舗を新規出店し、当第3四半期末の店舗数は104店舗となりました。既存店舗では、食品ディスカウント業態への転換として、8月にバリューセンター小俣店（三重県伊勢市）を「ザ・ビッグ エクスプレス小俣店」に、9月にバリューセンター 夏見橋店（三重県名張市）を「ザ・ビッグ エクスプレス 夏見橋店」にリニューアルオープンしました。

また、合併を機に、経営構造改革にも着手し、システムをはじめとするイオングループ共通のインフラの活用、店舗作業手順の見直し等、業務の共通化と効率化に取り組んでいましたが、人件費や販促費の削減が計画どおり進まず、販売費及び一般管理費が増加しました。一方、自社ポイントカードからイオンの電子マネー「WAON（ワオン）」への切り替え時の浸透の遅れ等により下降トレンドが続いていた売上高は、下期に入り回復基調となり、荒利益率も前年水準まで改善しているものの、上期の落ち込みを補うまでには至っておらず、既存店売上高前年比は97.4%（9月から11月までの累計98.7%）となりました。

海外事業では、イオンの中国戦略を推進する「永旺（中国）投資有限公司」（イオングループ中国本社）との合併で、2013年4月28日付で中国江蘇省蘇州市に子会社「永旺美思佰樂（江蘇）商業有限公司」を設立し、12月には同市に食品スーパーマーケット 1号店「マックスバリュ 楽園店」をオープンする運びとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、営業収益（売上高とその他の営業収入の合計）1,141億93百万円、営業利益7億12百万円、経常利益7億74百万円となり、四半期純利益は減損損失5億68百万円など特別損失5億91百万円を計上したことにより27百万円となりました。

なお、当第3四半期と比較対象となる前第3四半期の期間が異なるため、対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ88億68百万円増加し、469億98百万円となりました。増減の主な内訳は現金及び預金が18億62百万円、流動資産のその他が21億65百万円、有形固定資産が32億7百万円増加したこと等によるものであります。

また、当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ65億59百万円増加し、312億99百万円となりました。増減の主な内訳は、買掛金が39億76百万円、1年内返済予定の長期借入金が23億42百万円増加したこと等によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ23億9百万円増加し、156億99百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

2014年2月期の連結業績予想につきましては、本資料の公表時点において、2013年4月9日の「平成25年2月期決算短信」で発表いたしました2014年2月期連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

中国江蘇省蘇州市近郊における食品スーパーマーケットの展開を図るため、イオンの中国におけるグループ一体での成長戦略を推進する「永旺(中国)投資有限公司」(イオングループ中国本社)と合併で、2013年4月28日付で江蘇省蘇州市に新会社「永旺美思佰樂(江蘇)商業有限公司」を設立しました。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,142,371	3,005,321
売掛金	535,771	202,479
商品	2,625,626	3,511,770
繰延税金資産	376,461	510,647
その他	2,875,853	5,041,660
貸倒引当金	△278	△2,912
流動資産合計	7,555,805	12,268,966
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	12,443,300	15,008,877
機械装置及び運搬具（純額）	154,927	175,195
土地	8,186,434	7,904,748
建設仮勘定	32,675	154,479
その他（純額）	1,771,400	2,553,039
有形固定資産合計	22,588,739	25,796,341
無形固定資産		
のれん	447,395	187,579
その他	176,729	179,032
無形固定資産合計	624,125	366,611
投資その他の資産		
投資有価証券	602,844	633,555
繰延税金資産	1,932,110	2,368,921
差入保証金	3,755,957	4,147,672
その他	1,188,537	1,545,486
貸倒引当金	△117,901	△128,643
投資その他の資産合計	7,361,547	8,566,992
固定資産合計	30,574,412	34,729,945
資産合計	38,130,218	46,998,911

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,424,700	14,401,284
短期借入金	330,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	353,964	2,696,404
未払金及び未払費用	2,505,505	4,078,053
未払法人税等	576,576	378,794
未払消費税等	302,992	313,818
賞与引当金	452,674	128,391
役員業績報酬引当金	22,278	17,185
ポイント引当金	157,602	—
資産除去債務	4,650	21,632
設備関係支払手形	346,457	640,017
その他	1,216,194	1,562,418
流動負債合計	16,693,594	24,588,000
固定負債		
長期借入金	3,053,603	1,286,800
店舗閉鎖損失引当金	—	20,339
その他の引当金	3,667	5,565
長期預り保証金	3,326,254	3,434,234
資産除去債務	1,077,795	1,382,034
その他	585,373	582,809
固定負債合計	8,046,693	6,711,784
負債合計	24,740,288	31,299,784
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,850,498	3,950,498
資本剰余金	5,416,207	7,609,939
利益剰余金	4,132,331	3,905,654
自己株式	△61,583	△60,589
株主資本合計	13,337,453	15,405,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,806	18,293
為替換算調整勘定	—	△49,010
その他の包括利益累計額合計	△11,806	△30,717
新株予約権	64,282	73,168
少数株主持分	—	251,173
純資産合計	13,389,929	15,699,126
負債純資産合計	38,130,218	46,998,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
売上高	91,219,630	111,092,313
売上原価	68,960,247	83,795,105
売上総利益	22,259,383	27,297,207
その他の営業収入	2,334,865	3,101,204
営業総利益	24,594,248	30,398,411
販売費及び一般管理費	23,717,795	29,686,029
営業利益	876,453	712,382
営業外収益		
受取利息	12,032	22,183
受取配当金	11,126	12,535
違約金収入	9,639	34,960
その他	106,915	64,760
営業外収益合計	139,713	134,439
営業外費用		
支払利息	50,638	53,143
その他	10,070	18,893
営業外費用合計	60,708	72,036
経常利益	955,457	774,785
特別利益		
固定資産売却益	—	20,425
受取補償金	—	296,000
特別利益合計	—	316,425
特別損失		
固定資産売却損	62,426	—
減損損失	191,243	568,480
本社移転費用	—	22,952
特別損失合計	253,670	591,432
税金等調整前四半期純利益	701,787	499,778
法人税、住民税及び事業税	651,602	475,259
法人税等調整額	△138,463	1,335
法人税等合計	513,139	476,595
少数株主損益調整前四半期純利益	188,648	23,183
少数株主損失(△)	—	△4,382
四半期純利益	188,648	27,565

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年2月1日 至 平成24年10月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	188,648	23,183
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12,010	30,100
為替換算調整勘定	—	△61,263
その他の包括利益合計	△12,010	△31,162
四半期包括利益	176,638	△7,979
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	176,638	8,655
少数株主に係る四半期包括利益	—	△16,634

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第3四半期連結累計期間(自 2012年2月1日 至 2012年10月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自 2013年3月1日 至 2013年11月30日)

当社グループは、商品小売事業及びこれらに付帯する業務の単一事業であり、開示対象となるセグメントがないため記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2013年3月1日付でマックスバリュ中京株式会社と合併いたしました。この結果、第1四半期連結会計期間において、資本金が1億円、資本剰余金が21億93百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において、資本金が39億50百万円、資本剰余金が76億9百万円となっております。